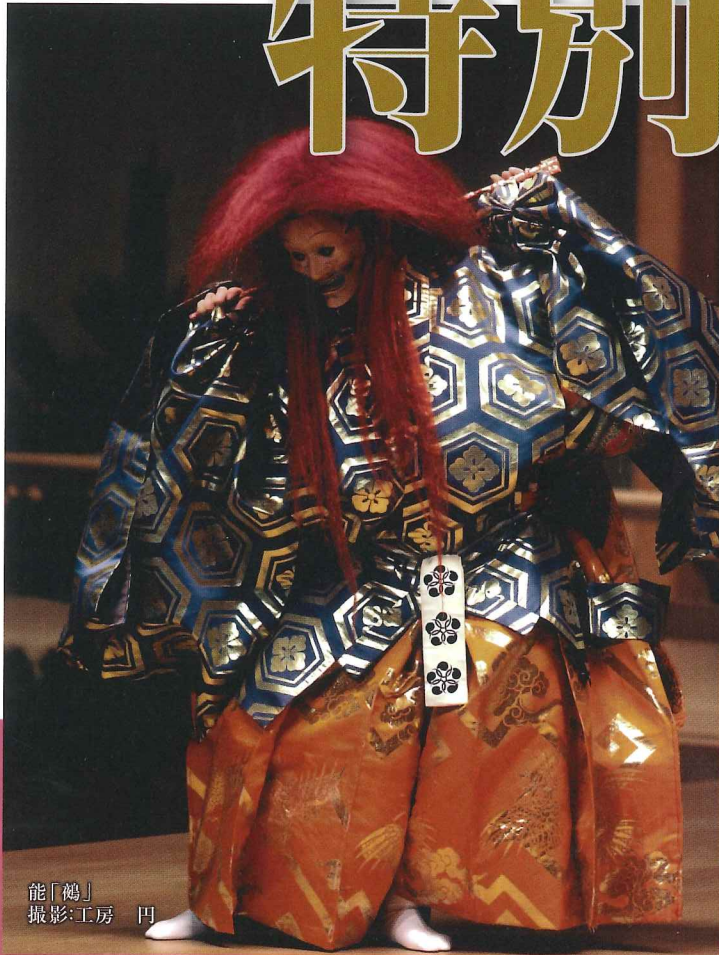


名古屋
能楽堂

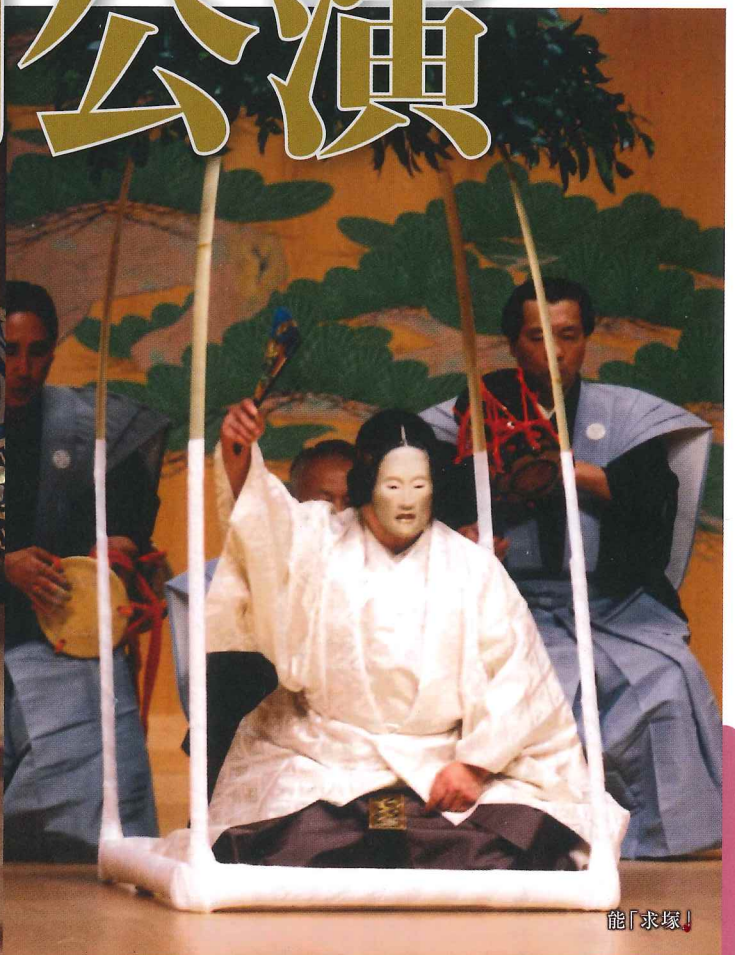
三月

Nagoya Noh Theater

特別公演



能「鶴」
撮影：工房 円



能「求塚」

能

狂言

能

「鶴」(宝生流)
シテ 内藤 飛能

「釣針」(和泉流)
シテ 野村又三郎

「求塚」(観世流)
シテ 久田 勘鷗

阪急、JR、阪神の三路線が競合する大阪―神戸間。その中で最も南側を走る阪神電車の沿線には、海の近くならではの多彩な伝承が残されています。古墳をめぐるロマンス、妖怪、えびずさん…。能や狂言を通して、いにしえの人の想像力に思いを馳せてみませんか。

〈阪神電車〉

鉄道で訪ねる
能・狂言
ゆかりの地

— 鉄道開業一五〇年によせて —

令和5年

3月5日(日)

12:30開場
13:30開演

指定席 5,200円
自由席(一般) 4,200円
自由席(学生) 2,000円

12月23日(金)より
前売券発売



仕舞

経政クセ (金春流)

鬼頭 尚久

休職十五分

後見 佐藤 融

シテ 太郎冠者 野村又三郎
アド 主人 伊藤俊彦
アド 奥方 伴野高彦
立衆 腰元 松田義徳
立衆 腰元 藤波郁雄
立衆 腰元 今枝蒼大
立衆 腰元 井上信郎
立衆 腰元 野村信彦
アド 乙 佐藤友彦

狂言

釣針 (和泉流)

地謡

後見

笛

小鼓

大鼓

太鼓

前シテ 里女 久田勘鷗
後シテ 里女 久田勘鷗
ツレ 里女 上野朝彦
ツレ 里女 飯野雄介
ツレ 旅僧 飯野雄介
ワキ 旅僧 飯野雄介
ワキツレ 従僧 飯野雄介
ワキツレ 従僧 飯野雄介
アイ 所の者 井上松次郎

能

求塚 (親世流)

番組

能

鶴 (宝生流)

地謡

後シテ

前シテ

船人

鶴の蓋

旅僧

所の者

後見

小鼓

大鼓

太鼓

前田登 本田由樹 小島芳樹 矢代隆夫 伊藤雅子 平澤由美子 加藤かおる 羽多野良子 田中春奈 長田郷 伊藤英毅 松井俊介 内藤飛能 橋本俊幸 鹿島 大野昭弘 船戸裕一郎 河村裕義 鬼頭義命 小倉伸二郎 衣斐愛 平田正文 衣斐正宜 亀井保雄 和久莊太郎 石森智幸

仕舞

巻絹 (喜多流)

地謡

後見

前シテ

船人

鶴の蓋

旅僧

所の者

後見

前田登 本田由樹 小島芳樹 矢代隆夫 伊藤雅子 平澤由美子 加藤かおる 羽多野良子 田中春奈 長田郷 伊藤英毅 松井俊介 内藤飛能 橋本俊幸 鹿島 大野昭弘 船戸裕一郎 河村裕義 鬼頭義命 小倉伸二郎 衣斐愛 平田正文 衣斐正宜 亀井保雄 和久莊太郎 石森智幸

仕舞

花筐 (金剛流)

地謡

後見

前シテ

前田登 本田由樹 小島芳樹 矢代隆夫 伊藤雅子 平澤由美子 加藤かおる 羽多野良子 田中春奈 長田郷 伊藤英毅 松井俊介 内藤飛能 橋本俊幸 鹿島 大野昭弘 船戸裕一郎 河村裕義 鬼頭義命 小倉伸二郎 衣斐愛 平田正文 衣斐正宜 亀井保雄 和久莊太郎 石森智幸

(午後五時頃終了予定)

◆能解説「求塚」(もとめつひ)

(前場)旅の僧が津の国生田の里に着きますと、春とはいえまだ寒いなか、沢山の里女が若菜を摘んでいます。僧は生田の森を問ひ、続いて求塚を聞きます。知らないことと返事をし、女たちは帰っていきます。そこに一人の女が残り、僧を求塚に案内し、昔話を語りませ。昔、このに鬼名日少女(うなのおとめ)という女が住んでいて、小竹田男子(ささだのおとこ)と血沼の丈夫(ちぬのますらお)という二人の男に、同時に求愛された選択に迷った未生田川(うみうま)の鷺鷥(おしどり)を射た方と結婚しようと思いましたが二人の矢先は同時に当たり、決着がつかないので、自分が入水して果てます。そしてこの塚に埋葬されますが二人の男も、この塚の前で刺し違えて死んだことをかたり、二人を死なせたのは自分の罪だといひ、救ってほしいと云い、塚の内に入っていきました。夜、僧が吊っていますと、(後場)鬼名日少女の霊が現れ、二人の男の亡魂を鉄籠と化した鷺鷥からも責めを受け、八十八地獄の責めにあつている姿を僧に見せ、何とか助けてくれと願います。やがて鬼も去り、火焔も消えて暗闇となったので、また求塚に消えていきました。

◆狂言解説「釣針」(つりばし)

妻を持たない主人と召使の太郎冠者。両者は妻をいのため西宮の東神社を参詣します。社壇で通夜籠りをしていると、夢のお告げで釣竿を授けるとの事。それを用いて妻を釣り取り、早速実践する事に。女性を釣るといふ奇抜な発想で、現代では偏見差別とも受け取られかねませんが、そこは古典ならではの長とご理解いただき、何より夷(惠比須)様は縁起物であり歌舞伎舞踊にも「釣女」として伝承されています。三郎とは釣竿を持ち脇に魚を抱えた御存じ七福神の神像で、兵庫県西宮神社(通称・夷社)に奉られます。狂言に於いて「夷大黒(夷黒沙門)に登場し、八百萬の御神体の中でも庶民の身近な神の一体として、親しみが籠められています。(井上松次郎)

◆能解説「鶴」(つる)

諸国を旅する僧は、三熊野を経て京都の上がる道すがら摂津の国芦屋の里に泊まる事にします。夜明け頃、異様な姿をした者がうつお舟(大木をくり抜いてつる舟)に乗って現れます。どう見ても人間ではないので、僧が名前を尋ねると近衛院の時代、源頼朝に射られ命を落とした鶴の亡霊だと語り、舟を頼みます。鶴は僧の読経供養に感謝します。鶴を討ち取った源頼朝が獅子王(うし)の剣を帝から賜った折に、宇治の左大臣頼長が「ほととぎす」名をも雲居(うき)にあぐらをかき、上の句を詠み讀んだ事に対し「三張月の、いるにまかせて」と下の句を返し、名を上げたエピソードを語る一方、自分はうつお舟に押し込まれ淀川に流され芦屋から暗闇の世界へ落ちた事を嘆きます。鶴の亡霊はやがて僧の舟により海面に映つた月と共に消えていきます。前場では頼朝に射られ、さらに郎党の猪の早木(うさぎ)に九度刺されるという凄惨な表現も出て来ます。「鶴」は単なる化物物ではなく、人の心に棲む悪や敗れていった者の象徴として現れるもの、そしてそれを鎮める、甦らねる必要があつたのかも知れません。兵庫県芦屋市の芦屋公園の中に、鶴塚があり、芦屋の浜に流れ着いた鶴の死骸を地元の人々が丁寧に葬ったと言われています。(内藤 飛能)

◆「イヤホン・ガイド」

◆能「求塚」 日本語/川尾 薫(大阪大学大学院文学研究科准教授)

◆能「鶴」 日本語/川崎 瑠子(能楽イヤホンガイド名古屋)

◆能「鶴」 日本語/三苦 佳子(愛知産業大学短期大学非常勤講師)

●止むを得ず曲目、出演者等が変更となる場合があります。 ●上演中の写真撮影、ビデオ撮影、録音は事前に許可を受けた方以外はご遠慮ください。

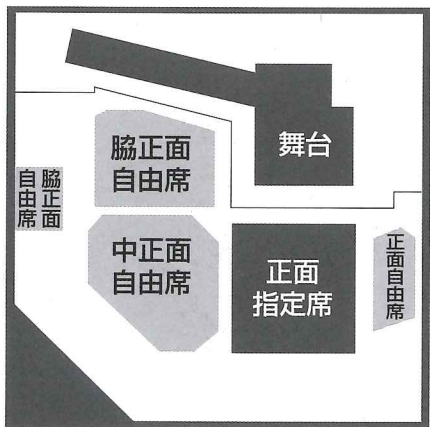
三月特別公演事前学習講座 2月11日(土) 14:00~16:00

受講チケット 500円 ◆名古屋能楽堂が工事休館につき、青少年文化センターで開催します。詳細は事前学習講座チラシをご覧ください。 ※事前学習講座のチケットは、名古屋市文化振興事業団の管理する文化施設窓口にて取り扱いをしております。

Table with ticket prices: 指定 5,200円, 自由 Non reserved 一般 Adult 4,200円, 学生 Student under 25 years old 2,000円

*学生券は25歳以下を対象とします。*未就学児のご入場はお断りいたします。 *チケットは1回につき4枚までの販売とさせていただきます。 *事業団友の会会員・障がい者手帳等をお持ちの方(付添者1名含む)は400円引きです。(前売のみ。学生券の割引はありません。)

前売券取扱所 Ticket Office 名古屋能楽堂 TEL.052-231-0088 名古屋市文化振興事業団チケットガイド TEL.052-249-9387 名古屋市文化振興事業団が管理する文化施設窓口<土日祝日も営業>でもお求めいただけます。



【感染予防への取り組みとお願い】

- ◎感染予防のため、ご来館の際はマスクをご着用ください。マスクを着用でない方の来館はお断りします。 ◎入場時の検温にご協力をお願いします。 37.5度以上の場合に入場をお断りします。 ◎チケットの半券にお名前と連絡先電話番号をご記入ください。ご記入いただきました個人情報、新型コロナウイルス感染者が発生した場合など必要に応じて保健所等の公的機関へ提供されます。一定期間経過後に適切に破棄させていただきます。 ◎指定席は間隔を空けた市松模様状に配置しております。自由席はお客様同士が隣り合う場合があります。 ◎本公演は名古屋市の「文化施設における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に基づき実施いたします。ガイドラインに基づいた対策にご理解・ご協力をお願いいたします。

公演についての最新の情報は名古屋能楽堂ホームページをご覧ください。

